

2018年度 事業報告書

1. 法人の概要

名 称	京都コンピュータ学園
創 立	1963年
所 在 地	京都府京都市左京区田中下柳町11番地1 TEL (075) 751-0555 FAX (075) 751-8839 URL https://www.kcg.ac.jp/
使命・目的	日本最初のコンピュータ教育機関として1963年の創立以来、社会の要請に応える創造性豊かな情報処理技術者を育成し、わが国の情報処理技術の向上と関連分野の発展に貢献することを目的とする。
教育理念	次の「教育理念」を定める。 【京都コンピュータ学院】 一、コンピュータ技術の学問的性格を重視し、理論をおろそかにしない本格教育 一、コンピュータ技術の進歩発展に対応する教育 一、コンピュータ技術における創造的能力の養成 一、情報化社会における複眼視的思考力の養成 一、知性・感性ともにすぐれた人格の育成 【京都自動車専門学校】 技術に優れ、高い倫理観を持つ自動車技術者を育成し、自動車産業と地域社会の発展に貢献する。

(1) 沿革

1963年5月、当時すでに京都大学工学部に設置されていたコンピュータ KDC-1（機械語によるプログラミング）を使用して科学技術計算を行っていた京都大学大学院理学研究科博士課程在学中の長谷川靖子（現学院長）は、日本の学術研究のために開放された IBM7090 の利用を目的として「FORTRAN 研究会」を立ち上げた。同研究会による講習会は、長谷川繁雄（初代学院長）が京都大学の北西で経営していた私塾「和文研セミナー」において、日本のどの大学にも情報系学科が皆無でありコンピュータ教育が実施されていなかった時代に、京都大学の若手研究者を対象に定例的に開催されるようになる。当時は日本語のコンピュータ関連の書物もなく、講義はメーカーの英文のマニュアルや海外から取り寄せた洋書をもとに行われた。その後、同会は「京都ソフトウェア研究会」と改称し、京都大学以外からも参加者を募り、各種の「電子計算機プログラミング講習会」を開催。講師には、京都大学情報系・数理系の若手学者が加わった。この講習会で行われた「科学技術計算プログラミング高度技法」「数値計算法」「線型計画法」「いろいろな Algorithm」「シミュレーション」「医学における電算システムの応用」などのアプリケーション・ウェアの講習は、わが国最初のものとして、京阪神地区の各大学の研究者たちに好評を博し

た。受講者は京都大学理・工・農・医・教育各学部の若手教官・研究員・大学院生をはじめ、京都工芸繊維大学・京都府立医科大学・同志社大学・立命館大学・大阪医科大学・神戸大学などの教授・助教授・助手・事務職員であったが、回を重ねるに従って、関西電力、島津製作所、竹中電子工業、立石電機、東洋電具製作所、日新電機、日本新薬、三菱重工業、三洋電機、住友金属など、京都市内および近郊の民間会社の研究所からの受講者が増加した。その後数年を経て起こったコンピュータ・ブームにより、大学生を含む多くの一般市民が参加し、新しい分野の専門職としての情報処理技術者を育成する場としてさらに発展していった。

長谷川繁雄は、情報化社会の到来を予見し、そのための人材需要に応えるべく、また、受講者に対する技術指導の中から、学歴偏重主義社会における高校卒業者たちの不遇な状況を知るに至り、コンピュータ技術者を養成する日本最初の全日制の学校設立を企画。長谷川靖子が教学面を担当・主導し、京都大学の宇宙物理学研究者グループが講師陣として協力して、1969年8月、大学に進学しない高校卒業者に対して情報処理技術専門教育を行うことを目的とした全日制「京都コンピュータ学院」が設置された。2004年4月には日本最初のIT専門職大学院として、京都情報大学院大学が開学。また2013年には京都で最も歴史と伝統がある自動車整備士養成教育機関の京都自動車専門学校をグループ校に加えた。

1963年 FORTRAN 研究会発足。“電子計算機プログラミング講習会”を開始。

1966年 「京都ソフトウェア研究会」に改称。

1968年 小型電子計算機 JACOM 110（日本無線製）設置。

「京都ソフトウェア研究会附属京都電子計算機学院」に改称。

1969年 小型コンピュータ HITAC 10（日立製）設置。

全日制「京都コンピュータ学院」設立。わが国で最初の高等学校卒業生に対する全日制情報処理技術専門教育課程 情報処理科・情報科学科設置。

1970年 小型コンピュータ TOSBAC 1100（東芝製）、DPS 機器 RICOH TYPYR（リコー製）設置。

左京区飛鳥井町から現在の京都コンピュータ学院洛北校に校舎を新築移転。

1971年 小型コンピュータ TOSBAC 40（東芝製）設置。

1972年 中型コンピュータ TOSBAC 3400（東芝製）設置。

1975年 情報工学科新設。超大型コンピュータ DIPS-1 DEMOS-E200B 設置。

教育機関においてはわが国初の TSS On-line データ通信システム宅内装置設置。

日本で最初に学生実習用に TSS（タイム・シェアリング・システム）稼働。

1976年 新法制による専修学校工業専門課程 京都コンピュータ学院認可。

1979年 現京都コンピュータ学院鴨川校、京都コンピュータ学院白河校認可。

大型計算機センター左京区高野に完成 超大型コンピュータ UNIVAC 1106 TSS 設置。

1980年 超大型コンピュータ UNIVAC 1100/21 TSS 設置。

1981年 オフィスコンピュータセンター左京区下鴨に完成。超大型コンピュータ UNIVAC Vanguard I TSS 設置。

1982年 第3大型計算機センター左京区百万遍に完成。

1983年 第4大型計算機センター左京区高野に完成 IBM 370/158 TSS 設置。

世界に先駆けて学生全員にパソコン無料貸出し制度実施。

1984年 京都コンピュータ学院百万遍校認可 第5大型計算機センター完成。

- IBM 4341-M12 TSS 設置。超大型コンピュータ UNIVAC Vanguard II TSS 設置。
- 1985 年 京都コンピュータ学院京都駅前校, 京都コンピュータ学院高野校認可。
- 1986 年 IBM 3031-A08 マルチプロセッサ TSS 設置。
学院創立者・初代学院長 長谷川繁雄先生永眠。
- 1987 年 UNIXマシン UNISYS SERIES 7000 設置。UNIVAC Vanguard II レベルアップ。
- 1988 年 創立 25 周年記念式典および記念校友大会開催。京都コンピュータ学院鴨川校新校舎完成。
UNIVAC Vanguard II レベルアップ (マルチプロセッサ化)。
- 1989 年 京都コンピュータ学院ボストン校開校。国際情報処理科 (全日制 2 年) 新設。
京都コンピュータ学院校友会機関誌「Accumu(アキュム)」創刊。
- 1990 年 UNISYS 2200/400 シリーズ設置。HITAC M-640/40 ダイアディックプロセッサ設置。
タイ王国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 1991 年 京都コンピュータ学院京都駅前校新校舎完成。
ガーナ共和国・ポーランド共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 1992 年 京都駅前校新校舎竣工記念式典および記念フェスティバル開催。
32bit ノート型パソコン無料貸出し制度開始。
ケニア共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
京都コンピュータ学院名誉学院長 宮本正太郎博士永眠。
- 1993 年 創立 30 周年記念式典・記念校友大会ならびに記念イベント開催。
芸術情報学科 (全日制 2 年) 新設。
ジンバブエ共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 1994 年 Windows・DOS/V・マルチメディア完全対応の新ネットワーク教育システム「K I N G」完成。
国際協力事業団 (J I C A) の要請により海外のコンピュータ技術研修員の受入れ開始。
ペルー共和国・マラウイ共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 1995 年 3 年課程情報工学科を改組し, コンピュータ工学科に改称。4 年課程情報工学科新設。
メディア情報学科 (全日制 3 年)・感性情報学科 (全日制 2 年) 新設。
- 1996 年 R I T と姉妹校提携締結。中国・天津外国語大学と姉妹校提携締結。(K C G)
ネットワーク学科 (全日制 3 年) 新設。
スリランカ民主社会主義共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 1997 年 2 年課程芸術情報学科を改組し, コンピュータアート科に改称。
3 年課程芸術情報学科新設。感性情報学科を改組し, コンピュータデザイン科に改称。
メディア工学科 (全日制 2 年)・ゲーム開発科 (全日制 2 年) 新設。
中国・西安外国語大学と教育提携締結。(K C G)
- 1998 年 R I T との大学院教育共同プロジェクトに基づき, 国際情報処理科に R I T 大学院修士
課程留学コース (全日制 2 年) 新設。
創立 35 周年記念式典および記念行事開催。
中国・首都師範大学と教育提携締結。(K C G)
- 1999 年 中国・東方財經日語大学と姉妹校提携締結。(K C G)
K C G・天津科技大学共同プログラム天津科技大学 K C G コース開設。
ナイジェリア連邦共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
- 2000 年 K C G ニューヨークオフィス (世界貿易センタービル内) 開設。
京都日本語研修センター設置。中国・上墅私立高級中学と姉妹校提携締結。(K C G)

- 2001年 KCGニューヨークオフィス被災。
ヨーロッパ日本語教育支援プログラム開始。
学院関連の人材派遣会社「株式会社KCGキャリア」設立。
- 2002年 情報学科（全日制4年）新設。
RITとの単位互換に関する合意に基づき、情報処理科・メディア工学科（全日制2年）にRITのIT学科、CS学科へ学部編入するRIT留学コース新設。
中国・北京第二外国語学院と教育提携締結。（KCG）
KCG北京オフィス（中国国家図書館内）開設。
モンゴル国へのコンピュータ教育支援活動開始。
理事 ロバート B. クッシュナー先生永眠。
- 2003年 中国・大連外国語学院大学と教育提携締結。（KCG）
創立40周年記念式典・記念校友祭典ならびに記念イベント開催。
- 2004年 京都情報大学院大学開学。
KCGニューヨークオフィスをロックフェラー・センタービルに移転。
NAIS（情報システム学会日本支部）を京都情報大学院大学内に開設。
韓国・高麗大学校情報保護大学院との学術交流提携。（KCGI）
独立行政法人国際協力機構（JICA）の要請により、モザンビーク共和国へのIT教育カリキュラム指導開始。タンザニア連合共和国へのコンピュータ教育支援活動開始。
自動車制御学科（全日制2年）新設。
- 2005年 ベトナムFPT社との業務提携締結。（KCGI）
京都コンピュータ学院京都駅前校新館完成。
在日ウガンダ共和国大使館の要請により、ウガンダ共和国へのIT教育カリキュラム指導開始。
韓国・電子通信研究院（ETRI）と事業交流提携締結。（KCGI）
チェコ共和国・オストラバ工科大学と友好提携締結。（KCGI）
文部科学省告示にて、情報工学科が高度専門士の称号付与学科として認められる。
- 2006年 日中合弁会社「吉林省KCGコンピュータ研究・開発有限会社」設立。
中国・天津科技大学、大連外国語学院、福建師範大学と学術交流協定締結。（KCGI）
京都情報大学院大学第一期生学位授与式、日本最初の「情報技術修士」誕生。
チェコ・オストラバ工科大学と学術提携。（KCGI）
韓国・済州大学校と学術交流協定締結。（KCGI）
海外コンピュータ教育支援活動に対し、長谷川靖子学院長が財団法人日本ITU協会より「国際協力特別賞」を受賞。
文部科学省告示にて、情報学科が高度専門士の称号付与学科として認められる。
- 2007年 中国・南京工業大学、北京商貿学校との協力協定締結。（KCGI）
ボスニア・ヘルツェゴビナ、エリトリア国、キルギス共和国との交流協定締結。
中国・長春大学光華学院との交流協定締結。
中国・西安外事学院、中国海洋大学と交流協定締結。（KCGI）
韓国済州道で日本企業説明会を開催。（KCGI）
韓国・国立済州大学校、社団法人済州IT協会、全国地域情報産業団体連合会（ANIA）との事業推進協力協定締結。

- 2008年 産業技術大学院大学と相互協力に関する協定締結。(KCGI) チェコ・パルドゥビツツェ大学と、世界で初めて遠隔システムを利用し学術教育交流協定締結。(KCGI) 中国・天津科技大学からの短期留学プログラム実施。中国・天津科技大学に京都コンピュータ学院のカリキュラムサポートによる中国初の自動車制御学科開設。
創立45周年記念式典および記念校友大会開催。
時代のニーズに即応し、5学系に学科を再編。
洛陽総合高校、京都聖カタリナ高校と連携事業協定締結。
韓国・財団法人済州知識産業振興院と協力事業提携締結。
- 2009年 中国・大連理工大学城市学院が共同教育プログラムに関する協定締結。(KCGI) パプアニューギニア独立国へのコンピュータ教育支援活動を開始。
KCG資料館が社団法人(現:一般社団法人)情報処理学会より「分散コンピュータ博物館」第一号に認定。学院所蔵のTOSBAC-3400, OKITAC 4300Cシステムが同学会より「情報処理技術遺産」に認定。
中国・大連水産学院と教育協力プログラム開始。(KCGI)
韓国・済州産業情報大学, 済州道晨星女子高等学校と共同教育事業交流協定締結。
クラーク記念国際高校京都キャンパス, 京都つくば開成高校と連携事業協定締結。
- 2010年 中国・鄭州軽工業学院と学術交流協定締結。瀋陽職業技術学院と合作教育提携締結。
韓国・国立済州大学校とデュアルディグリープログラム運営で合意。(KCGI)
- 2011年 学院所蔵のNEAC-2206が情報処理学会より「情報処理技術遺産」に認定。貴重な過去のコンピュータの保存, 展示に貢献しているとして長谷川靖子学院長に, 同学会から感謝状。元情報科学研究所長 上野季夫先生永眠。
京都情報大学院大学第二代学長 長谷川利治先生永眠。
- 2012年 学院所蔵のNEACシステム100が情報処理学会より「処理技術遺産」に認定。
京都情報大学院大学 札幌サテライト, 東京サテライトを開設。
地理的名称トップレベルドメイン「.kyoto(ドット京都)」のレジストリ(管理運営事業者)に内定。
彦根総合高校と連携事業協定締結。
- 2013年 学院所蔵のMZ-80Kが情報処理学会より「情報処理技術遺産」に認定。
京都コンピュータ学院創立50周年・京都情報大学院大学創立10周年記念式典開催。
京都自動車専門学校(1986年 京都府下最初の第一種自動車整備士養成施設として開校)がグループ校に。
京都自動車専門学校 元理事長・元校長 山本寿夫先生永眠。
株式会社マツシマホールディングスと自動車整備士育成に関する業務提携を締結。(KCGM)
京都マンガ・アニメ学会設立。
- 2014年 京都情報大学院大学初代学長 萩原宏先生永眠。
情報処理科にIT声優コースを新設。
創立50周年記念CDを発表, 「.kyoto」運用開始記念と合わせコンサート開催。
京都情報大学院大学「サイバー京都研究所」が京都府より「けいはんなイノベーションセンター」(KICK)研究事業第1号に認定。
ビー・エム・ダブリュ株式会社(BMW Japan)と優れた自動車整備士育成を目的とする

- 業務提携を締結。(KCGM)
- 2015年 地理的名称トップドメイン「.kyoto」運用開始。
古野電気株式会社と産学連携協定締結。
マンガ・アニメ学科，応用情報学科の設置を発表。
アートデザイン基礎科と芸術情報学科にマンガ・アニメコース設置，ビジネス基礎科に医療事務コース設置，応用情報学科に医療情報コース・海洋ITコース・農業ITコース設置を発表。
学院所蔵の Digital Equipment Corporation (DEC) PDP8/I が一般社団法人情報処理学会より「情報処理遺産」に認定。
京都情報大学院大学と京都府が連携・教育に関する包括協定を締結。
京都情報大学院大学サイバー京都研究所が「けいはんなオープンイノベーションセンター」(KICK)にオープン。
学院所蔵のシャープ株式会社 MZ-80K と日本電気株式会社 (NEC) の PC-8001 が国立科学博物館より「未来技術遺産」に認定。
- 2016年 地理的名称トップレベルドメイン「.kyoto」の一般登録開始。
学院所蔵の東京芝浦電気株式会社 (現 株式会社東芝) TOSBAC-1100D が一般社団法人情報処理学会より「情報処理技術遺産」に認定。
京都情報大学院大学が中心になって日本応用情報学会 (NAIS) を設立。
応用情報学科を新設。医療情報コース・海洋ITコース・農業ITコース・国際自動車制御コースを設置。
マンガ・アニメ学科を新設。
京都コンピュータ学院顧問・米田貞一郎先生永眠。
京都廣学館高校と連携事業協定締結。(KCGM)
国内IT関連の主要53団体を束ねる日本IT団体連盟が発足され，KCGグループ長谷川亘統括理事長が代表理事・筆頭副会長に就任。
- 2017年 情報処理科に国際ITコース，応用情報学科にフィンテックコース・デジタルアートコースを新設。
医療事務学科を新設。
日本ユニシス株式会社と産学連携協定締結。
独立行政法人 国立病院機構 京都医療センターと産学連携協定締結。
グラビス・アーキテクト株式会社とERPの共同研究に関する契約を締結。
- 2018年 京都コンピュータ学院創立55周年・京都情報大学院大学創立15周年記念式典および祝賀会開催。
ガボン共和国にコンピュータ教育支援活動を開始。

(2) 設置する学校・学科

京都コンピュータ学院鴨川校

課程名	学科名 (昼夜別)	修業年数
工業専門課程	アート・デザイン基礎科 (昼)	2
	アート・デザイン学科 (昼)	3
	芸術情報学科 (昼)	4

京都コンピュータ学院京都駅前校

課程名	学科名 (昼夜別)	修業年数
工業専門課程	情報コミュニケーション科 (昼)	1
	医療事務学科 (昼)	2
	ゲーム開発基礎科 (昼)	2
	情報処理科 (昼)	2
	ビジネス基礎科 (昼)	2
	ゲーム開発学科 (昼)	3
	メディア情報学科 (昼)	3
	ネットワーク学科 (昼)	3
	応用情報学科 (昼)	3
	マンガ・アニメ学科 (昼)	3
	情報科学科 (昼)	4
	経営情報学科 (昼)	4
	ゲーム学科 (昼)	4
	情報コミュニケーション科 (夜)	2

京都自動車専門学校

課程名	学科名 (昼夜別)	修業年限
工業専門課程	自動車整備工学科 (昼)	2

(3) 学生数の状況

(2018年5月1日現在) (単位:人)

京都コンピュータ学院鴨川校

課程名	学科名(昼夜別)	入学定員	総定員	現員数
工業専門課程	アート・デザイン基礎科(昼)	20	40	41
	アート・デザイン学科(昼)	40	120	35
	芸術情報学科(昼)	40	160	48

京都コンピュータ学院京都駅前校

課程名	学科名(昼夜別)	入学定員	総定員	現員数
工業専門課程	情報コミュニケーション科(昼)	20	20	5
		(各春/秋)	(各春/秋)	
	医療事務学科(昼)	40	80	9
	ゲーム開発基礎科(昼)	40	80	100
	情報処理科(昼)	40	80	239
		(各春/秋)	(各春/秋)	
	ビジネス基礎科(昼)	40	80	31
	ゲーム開発学科(昼)	40	120	96
	メディア情報学科(昼)	40	120	63
	ネットワーク学科(昼)	40	120	43
	応用情報学科(昼)	40	120	37
	マンガ・アニメ学科(昼)	40	120	26
	情報科学科(昼)	40	160	189
	経営情報学科(昼)	40	160	34
	ゲーム学科(昼)	40	160	234
情報コミュニケーション科(夜)	40	80	2	
	(各春/秋)	(各春/秋)		

京都自動車専門学校

課程名	学科名(昼夜別)	入学定員	総定員	現員
工業専門課程	自動車整備工学科(昼)	80	160	66

(4) 役員・評議員・教職員の概要等(2018年5月1日現在)

理事長 長谷川 晶

校長 京都コンピュータ学院鴨川校 藤井由美

京都コンピュータ学院京都駅前校 寺下陽一

京都自動車専門学校 手塚正義

理事 7名

評議員 15名

監事 2名

教員 39名(専任), 115(兼務)

職員 14名

2. 事業の概要

(1) 国際協力事業

派遣講義

1. 中国・天津科技大学

- ・ 2018年5月18日（金）～6月25日（月）
- ・ 2018年8月27日（月）～9月14日（金）
- ・ 2019年2月22日（金）～3月18日（月）

2. 中国・北京郵電大学世紀学院

- ・ 2018年8月27日（月）～9月14日（金）
- ・ 2019年2月22日（金）～3月17日（日）

3. 中国・蘇州工業園区服務外包職業学院

- ・ 2018年3月12日（月）～6月28日（木）
- ・ 2018年9月13日（木）～12月29日（土）

4. 中国・無錫職業技術学院

- ・ 2018年12月12日（水）～12月18日（火）

(2) 国内協力事業（産官学連携事業）

2018年3月12日～6月15日（294時間）

一般社団法人 京都府情報産業協会からの委託により、会員企業の新入社員（5企業の19人）を対象とした研修が行われた。この研修は、厚生労働省が支援する「実践型人材育成システム」に基づく雇用型訓練の一環で行われ、マナー等の基礎研修と、プログラミング実習・データベース実習などITの専門技術研修が行われた。

(3) 高校学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組

連携関係にある複数の高校に対して、高校に出向いての出張授業や、高校から本学院に来校しての連携授業を継続して行っている。科目内容は、主として高校からの依頼に基づき、CG作品やウェブサイトなどの制作、オフィス系文書作成などの実習授業を行っており、当該高校のカリキュラムでは学べない実務的なスキルアップを支援している。

(4) 社会貢献・地域貢献

本学の教育・研究活動の結果を広く一般の方に知ってもらう機会として、京都府と京都市の教育委員会の後援で毎年「KCGサマーフェスタ」を開催している。IT・コンピュータ分野はもちろんのこと、小中学生を対象にしたパソコン教室や電子工作教室、天文観測や合唱など、初心者でも楽しく体験・学習できるイベントを地域市民に対して実施している。また、京都駅前校大ホールでの講演会やクラシックコンサートなども、広く地域市民を対象に公開して実施している。

・KCGサマーフェスタ

- 7月28日 ・天文ワークショップ
・初めてのプログラミング講座
・親子で学ぶ「コンピュータの歴史」
・アニメ声優体験
・KCG ミュージックフェスタ 2018
- 8月20日 ・電子工作ワークショップ

・音楽会

- 12月21日「歌う喜びに隠された声づくりの秘密」
～YUBAメソッド：音痴も直り，歌が上手くなる発声法～

・その他

2018年6月21日（木）～29日（金）

大手 IT サービスの日本ユニシス株式会社総合技術研究所と共同で開設した未来環境ラボは、「Re:京都オープンデータハッカソン～京都のオープンデータを使いながら新しい形を考える～」と題し，短期間で集中的にアイデアを考え，開発まで手掛けるソフトウェア関連プロジェクトのイベントを実施した。

2018年11月17日（土）

大手 IT サービスの日本ユニシス株式会社総合技術研究所と共同で開設した「未来環境ラボ」が，IoT（Internet of Things）開発に向けた最先端の環境や手法を追求するコミュニティ，「IoTあるじゃん（ALGYAN）」を招いて，最も注目されるサービスのひとつ「Azure Sphere」についてのセミナーを開催し，学生を含む参加者が知識を深めた。

(5) 日本 IT 団体連盟（IT 連盟）

2016年7月22日，国内で最大の IT 関連の団体となる「日本 IT 団体連盟（IT 連盟）」が設立され，本学園理事長が筆頭副会長に就任して以来，本学においては，本学園理事長が委員長として参加する IT 教育委員会に，主に IT 人材を多数育成するための教育推進に協力すべく，教職員を参加させるなどし，その一翼を担う活動を引き続き行っている。

3. 主な行事

《春学期》

4月 1日	学年始・春学期開始
4月 7日	入学式
4月11日	春学期講義開始
4月24日	春期ハイキング
4月25日, 26日	学内合同企業説明会
4月24日~26日	新入生フレッシュマン・キャンプ
5月 1日	創立記念日
7月 2日	閑堂忌
8月 2日	春学期講義終了
8月 3日~8月11日	春学期試験
8月23日~9月12日	集中講座 (サマーコース)
9月14日	卒業式
9月18日	秋学期ガイダンス
9月28日	入学式
9月30日	春学期終了

《秋学期》

10月 1日	秋学期開始・秋学期講義開始
10月17日, 18日	秋期ハイキング
11月 1日	創立55周年記念行事, 京都情報大学院大学創立記念日
11月 9日, 10日	11月祭
11月18日	保護者相談会
12月22日~1月 6日	冬期休暇
1月 7日	講義再開
2月 1日	秋学期講義終了
2月 6日, 7日	プロジェクト演習発表会
2月 8日~18日	秋学期試験
2月24日	KCG AWARDS 2018
2月27日~3月19日	集中講座 (スプリングコース)
3月21日	卒業式, 祝賀会
3月28日	次年度秋学期ガイダンス
3月31日	秋学期終了・学年終

4. 財務の概要

2018年度事業の収支及び財務状況は、計算書類に記載のとおり。